

# 美空ひばりが立った磯子の舞台

## ～昭和の歌姫と劇場の記憶～

30回目の命日

6月24日(月)  
午後2時から

磯子区民文化センター

杉田劇場

リハーサル室

参加費:200円

ドリンク付き

ピアノ・ギター—合奏付き

横浜マンドリンクラブが美空ひばりの曲を演奏します。

■悲しき口笛

■川の流れのように (ほか)

前回の発掘隊「旧杉田劇場の思ひ出」では、昔の劇場に入ったことのある方々から様々なお話を聞くことができました。その中で子どもの頃の美空ひばり(加藤和枝)さんに関する新たな証言も飛び出しました。今回は彼女が舞台上に立った劇場も含めて、思い出を語っていただきます。

当時のアテネ劇場で映写技師として勤めておられた松永春さんや美空ひばり経営の「美之寿司」で働いていた鶴田理一郎さん、そしてお宝写真を保存している曾根武夫さんなどから貴重なお話が聴けます。

解体前のアテネ劇場(浜・海・道Ⅱより)

定員 ■50名(先着順)

お申込み ■裏面の申込用紙にご記入のうえ、ご持参・FAX・メールまたは郵送で杉田劇場までお送りください。

締切 ■6月20日(木) FAX 770-5656 E-mail sugigeki@yaf.or.jp

注意事項 ■当日は記録用に撮影を行いますので予めご了承願います。